

葉山地方の多毛環虫類

今 島 実*

Polychaetous Annelids from Hayama, Miura Peninsula

By

Minoru IMAJIMA

(With 1 text-figure and 6 Plates)

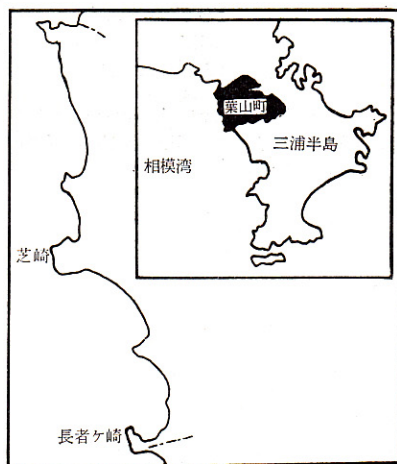
神奈川県葉山町は三浦半島にあって横須賀市と逗子市に接している。町の西側は相模湾に面して葉山港から長者ヶ崎までの約 4.8 km の海岸線は風光明媚の土地として広く知られると共に、天皇陛下の御用邸の所在地としても名高い。

三浦半島の西岸の三崎—油壺—葉山—江ノ島にかけての海岸は地形が複雑で岩礁地帯や砂地があり、各種生物の生息を容易にしている。その上黒潮によっていろいろな暖流性の生物が南の海から運ばれてくるので、この一帯は世界的にも特に生物相の豊かなところとして広く知られている。また1887年に東京大学三崎臨海実験所が油壺に開設され、生物相の研究にあたったこともこの地方の生物相がよく知られている一つの要素となっている。

大体において日本の各種動物相の研究は最初外国人によって手がけられており、日本産多毛類でもMarenzeller (1879) が江ノ島の東海岸や横浜などから採集した 30 種を報告したのが初めてである。30 種のうち 24 種が新種であった。その後三崎、横須賀、江ノ島、下田などの潮間帯や相模湾の大陸棚から、イギリス、アメリカ、スウェーデン、日本などの学者が採集し、報告しているが小型種は殆んどふくまれていない。

筆者は葉山地方の多毛類相を調査するため長者ヶ崎と芝崎の潮間帯で数回にわたり磯採集をし、また葉山沖の打寄網によって得られたものを合せて 87 種を明らかにした。そして各種についてその主な特徴を簡単に記した。数回の採集であるために当然この地方にも生息すると思われる種類が含まれておらず、従って本報告は葉山地方の多毛類相を完全に明らかにしているものではない。また新種と思われるものと疑問種 12 種は後日の報告にゆずることにしたため、ここに報告された 87 種の大部分は本州の海岸に普通にみられるものである。なお研究後の標本はすべて葉山観光館に保存されている。

この調査にあたり葉山観光館の使用を許可され、種々な便宜を与えられた川瀬源蔵館長と高槻俊一先生ならびに採集に協力下さった川瀬ツル研究員に深く感謝の意を表する。



第1図 葉山の海岸地形図

* 国立科学博物館 動物研究部 Department of Zoology, National Science Museum, Tokyo, Japan.

Family POLYNOIDAE ウロコムシ科

1. *Harmothoe imbricata* (Linnaeus) マダラウロコムシ

Harmothoe imbricata Izuka, 1912, p. 43, pl. 5, figs. 1-4, pl. 6, fig. 1; Imajima and Hartman, 1964, p. 35.

体長 20~40 mm。背面は15対のうろこでおおわれる。うろこは卵形で黒い斑点が散在する。頭部にある2対の眼点のうち、前方の1対は腹側にあつて不明瞭だが、後方の1対は背側にある。

採集地：長者ヶ崎，芝崎の転石下，海藻根部にすむ。

分布：日本各地，世界普通種。

2. *Lepidonotus squamatus* (Linnaeus) フサツキウロコムシ (第7図版, a)

Lepidonotus squamatus Marenzeller, 1902, p. 570, pl. 1, fig. 3; Imajima and Hartman, 1964, p. 26, pl. 1, figs. g, j.

体長 8~15 mm。12対のうろこは黄褐色で，表面には円錐形の大きな突起物があり，外縁には長い糸状の縁飾が並ぶ。

採集地：葉山沖 140 m。

分布：駿河湾以北，大西洋，北太平洋。

3. *Lepidonotus elongatus* Marenzeller ヤチウロコムシ

Lepidonotus elongatus Marenzeller, 1902, p. 571, pl. 1, fig. 5; Imajima and Hartman, 1964, p. 24.

体長 20~30 mm，環節数 25。12対のうろこは腎臓形で，表面には暗褐色の斑紋が散在し，外縁には短い糸状の縁飾が並ぶ。いぼ足の背触鬚は他のウロコムシ類に較べて短く，剛毛の先端まで達しない。

採集地：長者ヶ崎，海藻根部の間。

分布：本州中部以南，黄海。

4. *Lepidonotus helotypus* Grube サンハチウロコムシ

Polynoë gymnonota Izuka, 1912, p. 8, pl. 3, figs. 1-4.

Lepidonotus helotypus Imajima and Hartman, 1964, p. 25.

体長 40~50 mm，いぼ足を含めた体幅約 20 mm。うろこは12対あり，灰黒色と栗色の2種類がある。いずれも表面は平滑で，外縁の突起物もない。体の背面にはうろこと同色の横すじが走る。

採集地：長者ヶ崎の砂中。

分布：日本各地，黄海，ベーリング海。

5. *Halosydna brevisetosa* Kinberg ミロクウロコムシ

Halosydna nebulosa Marenzeller, 1902, p. 567, pl. 1, fig. 1.

Halosydna brevisetosa Imajima and Hartman, 1964, p. 20.

体長 30~50 mm。うろこは18対で表面には多くの大小の突起物があり，特に前方のうろこでは

いちじるしい。外縁には短い突起物が並ぶ。

採集地：長者ヶ崎の砂中，葉山沖 150 m。

分布：日本各地，黄海，北米太平洋岸。

Family CHRYSOPETALIDAE タンザクゴカイ科

6. *Chrysopetalum occidentale* Johnson タンザクゴカイ (第7図版, b-d)

Chrysopetalum occidentale Johnson, 1897, pl. 161, pl. 5, figs. 15, 16, pl. 6, figs. 17-19;
Imajima and Hartman, 1964, p. 47, pl. 9, figs. a-g.

体長 5~15 mm, 体幅 1~1.5 mm でたんざく状。多数の黄金色の扁毛が背面を完全におおっている。扁毛はおのおののいぼ足に30~50本あり，先端が幅広くなって辺縁は鋸歯状になる。

採集地：長者ヶ崎，芝崎，葉山沖 150 m。

分布：日本各地，北米太平洋岸，オーストラリア，北極海。

Family PHYLLODOCIDAE サンバゴカイ科

7. *Anaitides madeirensis* (Langerhans)

Phyllodoce madeirensis Fauvel, 1936, p. 57.

Anaitides madeirensis Imajima and Hartman, 1964, p. 60.

体長約 4 cm。頭部は幅が広く 2 個の大きな眼がある。頭部の前端には 4 本の触手があり，第 1, 2, 3 体節に 4 対の感触しゅがある。吻の基部には 12 縦列の乳頭突起がある。背触しゅは葉状で，腹触しゅは卵形。

採集地：芝崎。

分布：大西洋，地中海，インド洋，オーストラリア。

8. *Anaitides groenlandica* (Oersted) (第7図版, e)

Anaitides groenlandica Imajima and Hartman, 1964, p. 60.

体長 20~30 mm の小形の標本が得られた。背触しゅは大きくほぼ矩形，腹触しゅは細長くて先端が下方に曲る。

採集地：長者ヶ崎，芝崎。

分布：本州中部以北，グリーンランド，北太平洋。

9. *Anaitides elongata* Imajima

Anaitides elongata Imajima, 1967, p. 414, fig. 5, a-f.

1 個体が砂中から得られた。背触しゅは先端が尖った細長い葉状で，腹触しゅも形はよく背触しゅに似ているがやや小さい。能登半島の九十九湾から最初に採集された。

採集地：長者ヶ崎。

分布：本州中部。

10. *Eteone longa* (Fabricius) ホソミサシバ (第7図版, f, g)

Eteone longa Fauvel, 1923, p. 172, textfig. 62 a-d; Imajima and Hartman, 1964, p. 61.

体長約 30 mm。頭部には4本の感触手があり、感触しゅは2対。吻の表面は平滑で突起はない。背触しゅは小さい卵形。

採集地: 長者ヶ崎, 岩の割れ目。

分布: 日本各地, 北太平洋, 北大西洋, ベーリング海。

11. *Eulalia bilineata* (Johnston) (第7図版, h-j)

Eulalia bilineata Fauvel, 1923, p. 162, textfig. 58; Imajima and Hartman, p. 61, pl. 13, figs. a-d.

体長約 30 mm。体の背面の両側には2本の黒い線が縦に走る。吻の表面は大きい球状の突起でおおわれる。頭部には5本の感触手と1対の眼がある。背触しゅは小さい卵形。

採集地: 芝崎, 岩の割れ目。

分布: 日本各地, 大西洋, 地中海, 黄海, 北海。

12. *Eulalia viridis japonensis* Imajima and Hartman

Eulalia viridis japonensis Imajima and Hartman, 1964, p. 64.

体長 20~50 mm, 120~180 環節。体は深緑色で背面には2本の黒い縦線が走る。頭部には5本の感触手があり、感触しゅは4対。背触しゅは長い葉状で先端が尖る。*Eulalia viridis* サミドリサシバとは第2体節に剛毛がないことで区別される。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 本州中部以北。

13. *Eumida albopicta* (Marenzeller)

Eumida albopicta Izuka, 1912, p. 207; Imajima and Hartman, 1964, p. 64.

体長 15 mm。頭部には5本の感触手がある。第1節と第2節とは背側で融合する。吻の表面は平滑。背触しゅは体前部では先端が尖った心臓形で、後方につれて葉状になる。

採集地: 芝崎。

分布: 南日本。

14. *Eumida sanguinea* (Oersted) マダラサシバ (第8図版, a)

Eumida sanguinea Fauvel, 1936, p. 58; Imajima and Hartman, 1964, p. 64, pl. 13, fig. e.

頭部には5本の感触手があり、吻の表面は平滑。前種とよく似るが、背触しゅは赤褐色でわずかに長い心臓形。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎。

分布: 日本各地, 大西洋, ニュージーランド, 黄海。

15. *Genetyllis castanea* (Marenzeller) アケノサンバ (第8図版, b)*Carobia castanea* Marenzeller, 1879, p. 127, pl. 3, fig. 2.*Genetyllis castanea* Imajima and Hartman, 1964, p. 65.

体長 20~30 mm。体は真紅色で他の種類と容易に区別できる。頭部には4本の感触手と大きな2個の眼点がある。4対の感触しゅはやや扁平。背触しゅは心臓形で大きい。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎の海藻根部の間。

分布: 日本各地, オーストラリア, 紅海, 北米太平洋岸, 黄海。

16. *Nipponophyllum japonicum* (Marenzeller) (第8図版, c, d)*Nipponophyllum japonicum* Imajima and Hartman, 1964, p. 67, pl. 14, figs. a-b.

体長約 10 mm。体の背面は幅広い背触しゅで完全におおわれる。頭部には5本の感触手と2個の大きな眼点がある。頭部の後縁から2対の肉たれがさがり, 外側のものは長い。吻の表面は突起物でおおわれる。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 函館, 紀伊半島間の太平洋岸。

Family HESIONIDAE オトヒメゴカイ科

17. *Ophiodromus pugettensis* (Johnson) モグリオトヒメ*Ophiodromus pugettensis* Hesse, 1925, p. 20; Imajima and Hartman, 1964, p. 83.

体長 15~25 mm。頭部は幅広く, 3本の感触手, 1対の副感触手と2対の眼点がある。感触しゅは6対あってすべて細長い。いぼ足の背剛毛はふかくきれこんだ二又剛毛。ナマコの孔道中に共生している場合もある。

採集地: 長者ヶ崎の海藻根部の間。

分布: 本州中部以南, 北米太平洋岸。

Family SYLLIDAE シリス科

18. *Sphaerosyllis hirsuta* Ehlers (第8図版, e-g)*Sphaerosyllis hirsuta* Ehlers, 1897, p. 48, pl. 3, figs. 58-60; Imajima and Hartman, 1964, p. 116.

体は小さく体長 4~8 mm, 体幅 0.6~0.8 mm。環節数 37~44。体の背面は多くの小さな突起でおおわれる。頭部には3本の感触手があり, いずれも基部がふくらんだとっくり形。第3体節には背触しゅがない。体の腹面には1体節毎に2個ずつの卵をつける。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎の海藻根部の間。

分布: 日本各地, 千島列島, 南アメリカ。

19. *Exogone verugera* (Claparède) (第8図版, h, i)*Exogone verugera* Fauvel, 1923, p. 307, fig. 117; Imajima, 1966 a, p. 399, text-fig. 3.

体長 5 mm, 体幅 0.4 mm, 環節数40。体は黄白色で表面は平滑。副感触手は大きく頭部の長さ

の約2倍。3本の感触手は短くほぼ一列に並ぶ。背触しゅは全体節にあるが、非常に短く、いぼ足の先端をこえない。

採集地：芝崎，海藻根部の間。

分布：日本各地，地中海，大西洋，メキシコ，オーストラリア，南アフリカ。

20. *Amblyosyllis speciosa* Izuka カサネシリス (第9図版, a)
Amblyosyllis speciosa Imajima, 1966 b, p. 86, text-fig. 27.

体長約 10 mm。体は16体節からなり，体の模様には5種類ほどがある。感触手，背触しゅ共非常に長く，不明瞭な輪線をもつ。頭部の後縁には1対の感覚翼がある。

採集地：芝崎。

分布：日本各地。

21. *Odontosyllis undecimdongta* Imajima and Hartman (第9図版, b)
Odontosyllis undecimdongta Imajima and Hartman, 1964, p. 114, pl. 26, figs. h, i; pl. 27, figs. a-e.

体長約 20 mm，体節数 120。背面には黒い斑点が散在し，2~4 節毎に横すじが走る。第1体節から後頭板が生じ，頭部の後半部をおおう。背触しゅは指状で長短交互に排列する。

採集地：長者ヶ崎，芝崎。

分布：日本各地。

22. *Haplosyllis spongicola* (Grube) (第9図版, c, d)
Syllis (Haplosyllis) spongicola Fauvel, 1923, p. 257, fig. 95, a-d.
Haplosyllis spongicola Imajima, 1966 c, p. 220, text-fig. 38, a-h.

体長約 15 mm。頭部はだ円形で3本の感触手と4個の眼がある。体中部の背触しゅは短く，7~9 輪節をもつ。いぼ足には2~4本の単一剛毛があり，いずれも先端が二又にわかれて側方に突出した歯がある。

採集地：長者ヶ崎のカイメンの中。

分布：東北地方以南，地中海，インド洋，紅海，北米太平洋岸。

23. *Trypanosyllis (Trypanobia) asterobia* Okada (第9図版, e-g)
Trypanosyllis asterobia Okada, 1933, p. 325, pl. 12, figs. 1-4, text-fig. 1-5.
Trypanosyllis (Trypanobia) asterobia Imajima, 1966 c, p. 244, text-fig. 47, a-h.

体長 50~100 mm，体幅 3 mm，環節数 300~420。体は扁平で背面には斑紋がない。背触しゅは太く，長短交互に排列する。いぼ足には3~5本の先端が曲った単一剛毛がある。

採集地：葉山沖 150 m。

分布：本州中部以南。

24. *Trypanosyllis (Trypanedenta) taeniaformis* (Haswell) (第9図版, h)

Trypanosyllis (Trypanedenta) taeniaformis Imajima, 1966 c, p. 239, text-fig. 45, a-i.

体長約 40 mm, 体幅 2.5 mm。体は扁平で中央部がやや高くなる。体の背面には各節 2 条の横すじが走る。背触しゅは赤みがかかった紫色で、長短交互に並び、46と30輪節からなる。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎。

分布: 日本各地, オーストラリア, 紅海, パラオ島。

25. *Syllis amica* Quatrefages (第10図版, a, b)

Syllis amica Fauvel, 1923, p. 258, fig. 95; Imajima, 1966 c, p. 246, text-fig. 48, a-o.

体長 30 mm, 体幅 1 mm, 環節数 150~170。長短交互に排列する背触しゅは明瞭な輪節にわかれ、長いものはほぼ体幅に等しい。体中部のいぼ足には 1 本の太い単一剛毛と、3~4 本の細い複剛毛がある。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎の岩の割れ目。

分布: 東北地方以南, 地中海, 大西洋。

26. *Langerhansia cornuta* (Rathke) (第10図版, c-d)

Syllis (Ehlersia) cornuta Fauvel, 1923, p. 267, fig. 100, g-j.

Langerhansia cornuta Imajima, 1966 d, p. 256, text-fig. 51, a-o.

体長 10~16 mm, 体幅約 0.7 mm, 環節数約 100。背触しゅははっきりした輪節にわかれ、長短交互に並ぶ。おのおののいぼ足の剛毛束には上端部が非常に長い剛毛が 2~3 本と、上端部の短いものが 5~9 本ある。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎。

分布: 日本各地, 北大西洋, 地中海, インド洋, 黄海。

27. *Langerhansia rosea* (Langerhans)

Ehlersia (Syllis) rosea Langerhans, 1879, p. 538, fig. 5.

Langerhansia rosea Imajima, 1966 d, p. 259, text-fig. 52, a-m.

大きな個体で体長 17 mm, 体幅 0.4 mm, 環節数 120。前種とよく似ているが、上端部の長い複剛毛が第 1 いぼ足から現われるのに対して、第 14~20 いぼ足より現われることで区別される。

採集地: 長者ヶ崎の海藻根部の間。

分布: 本州中部以南, 大西洋。

28. *Typosyllis ehlersioides* Marenzeller (第10図版, e)

Typosyllis ehlersioides Imajima, 1966 d, p. 279, text-fig. 60, a-o.

体長 20~25 mm, 体幅 1.5 mm, 環節数約 100。各体節の背面には中央にチョコレート色の横しまがあり、その前方は淡く後方は白い。しかし体後部では不明瞭になる。背触しゅは細長く長短交互にならぶ。長いもので約 70 の輪節がある。剛毛は短い上端部をもった複剛毛で、小さな付属歯を

もつ。

採集地：長者ヶ崎，海藻根部の間や岩の割れ目。

分布：日本各地，ベーリング海。

29. *Typosyllis prolifera* (Krohn) (第10図版, f)

Syllis (*Typosyllis*) *prolifera* Fauvel, 1923, p. 261, fig. 97, a-g.

Typosyllis prolifera Imajima, 1966 d, p. 292, text-fig. 65, a-n.

体長 30~35 mm, 体幅 1.7 mm, 環節数100内外。背面は紫褐色で斑紋はない。体中部の背触しゅは長短交互に排列し，長いものは体幅にほぼ等しい。いぼ足の各剛毛は先端が明瞭な二又にわかれる。

採集地：長者ヶ崎，芝崎の海藻根部の間。

分布：東北地方以南，大西洋，地中海，インド洋。

30. *Typosyllis fasciata* (Malmgren) モノシリス

Typosyllis fasciata Imajima and Hartman, 1964, p. 135, pl. 33, figs. j-o.

体長は 20 mm, 体幅 1.3 mm, 環節数約 80。背触しゅは細長く，体中部では 25~30輪節と 45~50輪節をもったものが交互に並ぶ。いぼ足は上端部の先端が単一の複剛毛束をもつ。

採集地：長者ヶ崎。

分布：日本各地，北大西洋，太平洋，ベーリング海，黄海。

31. *Typosyllis okadai* (Fauvel) (第10図版, g)

Typosyllis okadai Imajima, 1966 d, p. 268, text-fig. 56, a-1.

体長約 20 mm, 体幅 1.3 mm。頭部と第 1, 2, 7, 8, 9 体節は濃いチョコレート色でその後方はうすくなる。各体節には円い白斑が散在する。背触しゅは長短交互に並び，長いもので13輪節がある。剛毛は上端部の先端が単一。

採集地：芝崎。

分布：本州中部以南，インド洋。

32. *Typosyllis nipponica* Imajima (第11図版, a)

Typosyllis nipponica Imajima, 1966 d, p. 266, text-fig. 55, a-o.

大きな個体で体長 60 mm, 体幅 1.2 mm, 167 環節。体は緑色で咽頭の色素のために第 6 体節は黒い。各体節には 2 本の輪線があり，はっきりと 3 輪節にわけられる。背触しゅは長短交互 (15 と 9 輪節) に並ぶ。剛毛の上端部は大きく二又となる。

採集地：長者ヶ崎，芝崎の石灰藻の根部。

分布：日本各地。

33. *Typosyllis aciculata orientalis* Imajima and Hartman (第11図版, b-c)

Typosyllis aciculata orientalis Imajima and Hartman, 1964, p. 130, pl. 31, figs. e, f; pl. 32, figs. a-t.

体長 30~40 mm, 体幅 1~1.3 mm, 環節数 140~160。各環節の背面に1~2本の黒い横帯が走るが体の後方になるとうすくなる。体中部の背触しゅは基部が太くなり8~10輪節がある。剛毛はすべて短複剛毛で上端部には小さな付属歯がある。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎の海藻根部の間やカイメンの中, イガイの付着場所。

分布: 日本各地。

34. *Typosyllis adamanteus kurilensis* Chlebovitsch (第11図版, d)

Typosyllis adamanteus kurilensis Imajima and Hartman, 1964, p. 134, pl. 33, figs. a-i.

体長約 25 mm, 体幅 1.7 mm。体の背面は褐色で各節に1個の大きな白い斑点がある。背触しゅは長短交互に並び, 長いもので35輪節をもつ。体の前部から中部までの剛毛は先端が単一で, 後部の剛毛には小さい付属歯が生ずる。

採集地: 長者ヶ崎の砂中。

分布: 北日本, 千島列島。

Family NEREIDAE ゴカイ科

35. *Perinereis brevicirris* (Grube) イソゴカイ (第11図版, e-f)

Nereis mictodonta Izuka, 1912, p. 148, pl. 16, figs. 1-6.

Perinereis brevicirris Imajima and Hartman, 1964, p. 151.

体長 50~80 mm で環節数は100内外。体の前部背面は青黒色。吻の顎片は大部分円錐形であるが, 第VI区では横に長い矩形の顎片が8~10個一列に並ぶ。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 東北地方以南, 南洋諸島, オーストラリア。

36. *Perinereis cultrifera* (Grube) クマドリゴカイ (第11図版, g)

Nereis cultrifera Izuka, 1912, p. 151, pl. 16, figs. 7-14.

Perinereis cultrifera Okuda, 1938, p. 92; Imajima and Hartman, 1964, p. 152.

体長 40~60 mm, 環節数 70~80。背面には黒い斑紋がある。吻の顎片は大部分円錐形であるが, 第VI区には1個の横に長い柱状の顎片がある。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎の海藻根部の間。

分布: 本州各地, 地中海, 大西洋, インド洋, 黄海。

37. *Nereis pelagica* Linnaeus フツウゴカイ (第11図版, h)

Nereis pelagica Marenzeller, 1879, p. 122; Imajima and Hartman, 1964, p. 147.

体長 50~80 mm, 体幅 3~5 mm。背面は褐色。4対の感触しゅは比較的短い。吻の第VII~VIII区

では大きな円錐形の顎片が一行とその下方に2~3列に小顎片が並ぶ。

採集地: 長者ヶ崎, 葉山沖 150 m。

分布: 日本各地, 世界普通種。

38. *Nereis pelagica multignatha* Imajima and Hartman

Nereis pelagica multignatha Imajima and Hartman, 1964, p. 148.

前種と外形はほとんどかわらないが, 吻の第VII~VIII区には前種よりも細かい顎片が非常に多い。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 日本各地。

39. *Nereis zonata* Malmgren

Nereis cylindrata Izuka, 1912, p. 153, pl. 16, fig. 16.

Nereis zonata Imajima and Hartman, 1964, p. 150.

体長約 50 mm。外形は *N. pelagica* に似るが, 吻の第VI区顎片が短く2列に並ぶことで区別される。

採集地: 長者ヶ崎の砂中。

分布: 大西洋, 南洋諸島, インド洋。

40. *Nereis vexillosa* Grube エゾゴカイ (第11図版, i-j)

Nereis ezoensis Izuka, 1912, p. 173, pl. 18; Okuda, 1938, p. 91.

Nereis vexillosa Imajima and Hartman, 1964, p. 149.

体長 100 mm 内外。背面は緑色がかった褐色。体の中部より後方のいぼ足の背足舌が斜め上方に長くのびる。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 本州中部以北, 北米太平洋岸, アラスカ, 支那海。

41. *Platynereis bicanaliculata* (Baird) ツルヒゲゴカイ (第11図版, k)

Nereis agassizi Izuka, 1912, p. 160, pl. 1, fig. 9, pl. 17, figs. 9-11.

Nereis dumerilii Izuka, 1912, p. 158, pl. 17, figs. 7, 8.

Platynereis bicanaliculata Imajima and Hartman, 1964, p. 152.

体長 20~60 mm, 背面は褐色でいぼ足付近に暗紫色の斑点がある。感触しゅは細長くて, 最も長いものは第15体節に達する。吻の顎片は非常に小さく櫛の歯のように並ぶ。いぼ足の背足枝には1~2本の暗褐色で先端が曲った単一剛毛がある。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎の海藻根部や岩の割れ目。

分布: 日本各地, 北米太平洋岸, オーストラリア。

42. *Platynereis dumerilii* (Audouin and M. Edwards)

Platynereis dumerilii Fauvel, 1923, p. 359, fig. 141; Imajima and Hartman, 1964, p. 153.

前種とよく似るが、いぼ足の背足枝に 2~3 本の短い複剛毛がある。前種と混棲するが個体数は余り多くない。

採集地：長者ヶ崎。

分布：本州各地，大西洋，インド洋。

Family NEPHTYIDAE シロガネゴカイ科

43. *Nephtys brachycephala* Moore

Nephtys brachycephala Imajima and Hartman, 1964, p. 156.

体前部のみ不完全個体が得られた。両足枝間に生ずる鰓が短い葉状で第 5 いぼ足から生ずること、頭部に眼点がないことなどで本種に似るが、頭部の形が原記載とやや異なる。

採集地：長者ヶ崎の砂中。

分布：相模湾。

Family GLYCERIDAE チロリ科

44. *Glycera americana* Leidy マイヅルチロリ (第 12 図版, a)

Glycera opisthobranchiata Izuka, 1912, p. 240, pl. 24, figs. 3, 4.

Glycera americana Imajima and Hartman, 1964, p. 160.

体長約 170 mm, 環節数 260。体は赤みがかった暗灰色で運動はすばやい。いぼ足の後側の基部から鰓を生じ、よく発達したものは 12 本の枝にわかれる。

採集地：長者ヶ崎の砂中。

分布：本州各地，北米太平洋岸，ブラジル。

45. *Glycera chirori* Izuka チロリ (第 12 図版, b)

Glycera chirori Izuka, 1912, p. 245, pl. 2, fig. 18; pl. 24, fig. 13; Imajima and Hartman, 1964, p. 161.

体長約 80 mm, 環節数 140。鰓はいぼ足の前側より生じ単一な指状。いぼ足の背腹両前葉は一つのかびれで下部はふくらみ，上部は指状突起になる。

採集地：長者ヶ崎の砂中。

分布：日本各地，黄海。

46. *Glycera onomichiensis* Izuka (第 12 図版, c)

Glycera onomichiensis Izuka, 1912, p. 244, pl. 24, figs. 10-12.

体長 70 mm, 環節数 70。背腹両前葉は後葉とほぼ同形であるが，前葉のものがわずかに長い。いぼ足には鰓はない。

採集地：長者ヶ崎の砂中。

分布: 本州中部以南, 黄海。

47. *Glycera capitata* Oersted キタチロリ (第 12 図版, d)

Glycera capitata Imajima and Hartman, 1964, p. 161.

体長約 20 mm, 環節数約 100。各体節は 3 輪節にわかれる。いぼ足は小形で, 剛毛束をはさみ 2 つの指状の前足葉と 1 つの円い後足葉とからなる。鰓はない。

採集地: 長者ヶ崎の砂中。

分布: 本州中部以北, 北大西洋, アラスカ。

Family ONUPHIDAE ナナテイソメ科

48. *Diopatra bilobata* Imajima (第 12 図版, e)

Diopatra bilobata Imajima, 1967, p. 428, fig. 9, a-t.

本種は砂の上に死貝, 海藻, ごみなどをつけた棲管をだし, また鰓糸が螺旋状に排列している鰓をもつことなどから地中海産の *Diopatra neapolitana* として報告されていた。しかし, 本邦産の種類は体前部のいぼ足に 2 足葉があり, また 3 種類の剛毛をもつことで *D. neapolitana* と容易に区別できる。特異な棲管と鰓から, 余り研究されずに *D. neapolitana* にされていたのであろう。

採集地: 長者ヶ崎の砂中。

分布: 本州中部以南。

Family EUNICIDAE イソメ科

49. *Lysidice collaris* Grube シボリイソメ

Lysidice collaris Marenzeller, 1879, p. 136, pl. 5, fig. 2; Imajima and Hartman, 1964, p. 258.

体長 30~90 mm, 体幅 2~4 mm, 環節数 100~200。体背面は暗紅色で多くの小さい黄色斑点が散在する。第 4 環節は白い。頭部の前縁は深くきれこみ, 3 本の短い指状の感触手と 1 対の眼がある。いぼ足には単一剛毛と短複剛毛とがあり, また第 18~21 いぼ足より斜め下方に 1 本の二又足刺剛毛を生ずる。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎, 葉山沖 150 m。

分布: 本州中部以南, 紅海, インド洋。

50. *Nematonereis unicornis* (Grube) ヒトモトイソメ (第 12 図版, f)

Nematonereis unicornis Imajima and Hartman, 1964, p. 260.

体長約 50 mm。頭部は半円形で 1 対の眼と短い 1 本の触手がある。いぼ足は小さく, 背触しゅは単一な指状。第 1, 2 体節にはいぼ足がない。

採集地: 芝崎。

分布: 本州中部以南, 地中海, 大西洋, インド洋。

51. *Marphysa sanguinea* (Montagu) イワムシ (第12図版, g)*Marphysa iwamushi* Izuka, 1907, p. 141, 5 textfigs.*Marphysa sanguinea* Imajima and Hartman, 1964, p. 259.

体長約 180 mm, 環節数 245。体前部は円筒形であるが, しだいに扁平になる。頭部には5本の触手と小さな眼が1対ある。鰓は第30体節から1本生じ, 体中部では枝分れして4~5本になる。釣餌として用いられる。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎の軟質の岩石中や転石下。

分布: 日本各地, 大西洋, インド洋。

Family LUMBRINERIDAE ギボシイソメ科

52. *Lumbrineris brevicirra* (Schmarda)*Lumbrineris impatiens* Okuda, 1938, p. 97, textfig. 14; Imajima and Hartman, 1964, p. 263.

体幅 2~4 mm で細長い円筒状。頭部は鈍円錐形で感触手はない。体前部のいぼ足には有翼針状剛毛と単一被覆剛毛とがあるが, 有翼針状剛毛は第26環節より消失して被覆剛毛のみとなる。いぼ足の足葉は短い。

採集地: 長者ヶ崎の岩の割れ目。

分布: 本州各地, オーストラリア。

53. *Lumbrineris heteropoda* (Marenzeller)*Lumbrineris heteropoda* Hartman, 1942, p. 121, textfig. 10 e-g; Imajima and Hartman, 1964, p. 262.

体は細長い円筒状。体前部のいぼ足の背腹両足葉は小さいが, 後部では背足葉が斜め上方に長くのびる。最初の35いぼ足には有翼針状剛毛のみが存在する。

採集地: 長者ヶ崎の砂中。

分布: 本州各地, 黄海。

54. *Lumbrineris japonica* (Marenzeller) ギボシイソメ*Lumbriconereis japonica* Marenzeller, 1879, p. 137, pl. 5, fig. 3; Imajima and Hartman, 1964, p. 263.

体は細長く, 頭部は円錐形。最初の20いぼ足には針状剛毛と被覆複剛毛があるが, 複剛毛は単一鉤状剛毛におきかわり, 針状剛毛も第40~60いぼ足で消失する。

採集地: 葉山沖 150 m。

分布: 日本各地, 南洋諸島, 北米太平洋岸。

Family ARABELLIDAE セグロイソメ科

55. *Arabella iricolor* (Montagu) セグロイソメ (第12図版, h)*Arabella iricolor* Imajima and Hartman, 1964, p. 265.

体長約 30 mm, 体幅 5 mm。体は暗緑黄白色で背面に5本の黒い縦線が走る。頭部は円錐形で

眼点のほかには付属器がない。いぼ足の前足葉は半円状で後足葉は指状。

採集地：長者ヶ崎の砂泥中。

分布：日本各地，大西洋，インド洋。

Family DORVILLEIDAE ノリコイソメ科

56. *Dorvillea japonica* (Annenkova)

Staurocephalus japonica Annenkova, 1937, p. 198.

Dorvillea japonica Uschakov and Wu, 1962, p. 67, pl. 3; Imajima, 1967, p. 437, fig. 12, a-v.

体長約 10 mm, 体幅 1.5 mm。生時には各節の背面に紅色の横すじが一本ずつみられる。1対の感触手と副感触手があり，感触手は 10 個内外の輪線をもつ。2対の眼点がある。全部のいぼ足が 2～4本の針状剛毛，2本の二又単一剛毛と約 10本の二又複剛毛をもつ。

採集地：長者ヶ崎。

分布：本州中部，北日本海，黄海。

Family ORBINIIDAE ホコサキゴカイ科

57. *Naineris laevigata* (Grube) ツブラホコムシ

Nainereis laevigata Okuda, 1937 a, p. 104.

Naineris laevigata Imajima and Hartman, 1964, p. 275.

体長約 50 mm。体は細長く，体前部はやや扁平，頭部は鈍円形で2個の眼点がある。第 4～12 節間に単一の鰓突起が生じ体末端までつづく。

採集地：長者ヶ崎。

分布：日本各地，地中海，黄海。

58. *Haploscoloplos elongatus* (Johnson) ナガホコムシ

Haploscoloplos elongatus Imajima and Hartman, 1964, p. 274.

体長約 60 mm, 体幅 2 mm。頭部の先端はすどく尖る。胸部は 15～19 剛毛節からなり，鰓は第 14～18 節より生ずる。胸部のいぼ足には細長い針状剛毛のみで他の剛毛はない。

採集地：長者ヶ崎。

分布：東北地方以南，北米太平洋岸。

Family SPIONIDAE スピオ科

59. *Boccardia hamata* (Webster) カギノテスピオ (第 12 図版, i-k)

Polydora (Boccardia) uncata Okuda, 1937 b, p. 238, figs. 16, 17.

Boccardia uncata Imajima and Hartman, 1964, p. 281.

Boccardia hamata Blake, 1966, p. 177.

体長 20～30 mm, 環節数 100～120。頭部の前端はわずかにくびれる。鰓は第 2, 3 剛毛節にあり，第 4, 5 節になく，第 6 節より体後部まで続く。第 5 剛毛節は他の節と異なり，7～9本の太く先端がやや曲った剛毛がある。また体後部の背足枝にはおのおの 1本の太い鎌型の剛毛が生ずる。

採集地：長者ヶ崎の海藻根部の間。

分布：本州中部以南，北米太平洋岸。

60. *Boccardia proboscidea* Hartman トキワスピオ

Boccardia proboscidea Hartman, 1940, p. 382, textfig. 1; Imajima and Hartman, 1964, p. 279, pl. 36, figs. a-f.

体長約 10 mm。頭部は前方に突出しその先端は円い。鰓は細長く扁平であるが，第 5 剛毛節と体末端にはない。第 5 剛毛節は他の節の長さの約 2 倍あり，太い鉤状剛毛と先端に小突起群をもつ剛毛とがある。

採集地：長者ヶ崎の砂中。

分布：日本各地，北米太平洋岸。

61. *Polydora ciliata* (Johnston)

Polydora ciliata Okuda, 1937 b, p. 230, textfig. 9.

頭部の先端はほぼ円く，肉冠の後方は第 3 剛毛節までのびる。鰓は第 7 剛毛節より生じ体後部までつづく。第 5 剛毛節には太くて先端がやや曲り側歯をもった剛毛列がある。第 1 剛毛節には背足枝がない。

採集地：長者ヶ崎の岩の割れ目。

分布：日本各地，大西洋，北米太平洋岸。

62. *Polydora flava orientalis* Imajima and Hartman

Polydora flava Okuda, 1937 b, p. 228, fig. 8.

Polydora flava orientalis Imajima and Hartman, 1964, p. 283.

体長 10~15 mm，環節数 90~100。頭部の先端は二又にわかれ，肉冠は第 3 剛毛節までのびる。第 1 剛毛節には背腹両足枝がある。鰓は第 7~9 剛毛節より生じ体後方までつづく。第 5 剛毛節には 6~7 本の太い単一剛毛がある。

採集地：長者ヶ崎。

分布：本州中部以南。

63. *Pseudopolydora antennata* (Claparède) オニスピオ

Polydora (Carazzia) antennata Okuda, 1937 b, p. 237, fig. 15.

Pseudopolydora antennata Imajima and Hartman, 1964, p. 286.

体長 30 mm，環節数 104。頭部の先端は二又にわかれ，中央部には 1 本の短い中央感触手がある。第 5 剛毛節は他の節と異なり馬蹄形に並んだ 2 列の特殊な剛毛列がある。鰓は第 7 剛毛節から生じ体後部までつづく。

採集地：長者ヶ崎の海藻根部の間。

分布：本州中部以南，地中海，インド洋，南アフリカ。

64. *Pseudopolydora kempj japonica* Imajima and Hartman*Pseudopolydora kempj japonica* Imajima and Hartman, 1964, p. 287.

形態は前種とよく似るが、鰓は第7剛毛節よりはじまって第24~26(18~20対)節までしか存在しない。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 日本各地。

65. *Prionospio pinnata* Ehlers ヨツバネスピオ*Prionospio pinnata* Okuda, 1937 b, p. 247, textfig. 22.

体長約 30 mm。頭部の先端は円く、側縁にある耳状の膜で左右からおおわれている。鰓は第2, 3, 4, 5 剛毛節にあり最初のものが最も長い。これらの鰓には羽状の小突起が密生している。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 東北地方以南, 大西洋, 太平洋, インド洋。

66. *Prionospio krusadensis* Fauvel ミツバネスピオ*Prionospio krusadensis* Okuda, 1937 b, p. 244, textfig. 21.

体長約 20 mm, 体節数約 100。頭部の先端は円く膜状体がない。鰓は第2, 3, 4 剛毛節にあり, 第3対の鰓は前方のものより小さい。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 本州中部以南, インド洋。

Family CIRRATULIDAE ミズヒキゴカイ科

67. *Cirratulus cirratus* (O.F. Müller) チグサミズヒキ (第12図版, 1)*Cirratulus cirratus* Imajima and Hartman, 1964, p. 298.

体は細長い円筒形で第1剛毛節からはほぼ全体にわたり糸状の鰓糸を生ずる。頭部には一列に眼点が並ぶ。第1剛毛節の背面に感触糸の群がある。いぼ足の背腹両足枝共に針状剛毛があり, 背足枝では第20節附近から, 腹足枝では第10節附近から鉤状剛毛が現われる。

採集地: 長者ヶ崎の砂中。

分布: 日本各地, 世界普通種。

68. *Cirriformia tentaculata* (Montagu) ミズヒキゴカイ*Audouinia comosa* Okuda, 1937 c, p. 51, pl. 2, fig. B.*Cirriformia tentaculata* Imajima and Hartman, 1964, p. 299.

体長約 60 mm, 体幅 5 mm。頭部に眼点はない。体側にある鰓糸は第1剛毛節からはじまる。背側の感触糸は第5と6剛毛節, あるいは第6と7剛毛節に群生する。

採集地: 長者ヶ崎の砂泥中。

分布: 日本各地, 世界普通種。

69. *Cirriiformia chrysoderma* (Claparède)

Cirriiformia chrysoderma Imajima and Hartman, 1964, p. 298.

体長約 50 mm。頭部は三角形で眼はない。鰓糸と感触糸とは第 4 剛毛節から生じ感触糸はわずかに 2~3 対。背腹両足枝共針状剛毛のみをもつ。

採集地: 長者ヶ崎の砂中。

分布: 本州中部, インド洋。

70. *Dodecaceria fistulicola* Ehlers

Dodecaceria fistulicola Okuda, 1940, p. 18; Imajima and Hartman, 1964, p. 300.

体長 15 mm の 1 個体が得られた。体は黒っぽく 1 対の太い副感触手と 2 対の鰓がある。体前部の 8 剛毛節には針状剛毛, 次節より第 31~34 節までは太い単一剛毛, それより後方は再び針状剛毛におきかわる。原記載では鰓の数が 6 対に対して葉山産のものは 2 対しかないが, これは若い個体のためと思われる。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 琉球, インド洋, オーストラリア, 南アメリカ。

Family OPHELIIDAE オフェリアゴカイ科

71. *Polyopthalmus pictus* (Dujardin) カスリオフェリア

Polyopthalmus pictus Okuda, 1938, p. 100; Imajima and Hartman, 1964, p. 309.

体長 10~25 mm, 環節数 27~28。体は弓形で両端が細く, 体背面には黒い斑紋が並ぶ。体の腹側と両側に深い溝が走り, 両側溝には 12~14 の小さい眼点がある。いぼ足は発達せず腹触しゆがない。急速に運動する。

採集地: 長者ヶ崎, 芝崎の海藻根部の間。

分布: 日本各地, 世界普通種。

Family CAPITELLIDAE イトゴカイ科

72. *Dasybranchus caducus* (Grube) チリメンイトゴカイ

Dasybranchus caducus Okuda, 1940, p. 19.

体長 45 mm, 体幅 1.3 mm。体は胸部と腹部にわかれ, 胸部の 13 剛毛節では背腹両足枝共に針状剛毛束をもつ。多数の糸状の鰓が腹部のいぼ足間に生ずる。

採集地: 長者ヶ崎の砂泥地。

分布: 本州各地, 世界普通種。

73. *Capitella capitata capitata* (Fabricius)

Capitella capitata capitata Wu, 1964, p. 261, textfigs. 1-3.

体長約 15 mm。最初の 7 節の背腹両いぼ足には針状剛毛のみで, 次節より鉤状剛毛におきかわる。雄の個体では第 8, 9 節の背足枝に特殊な生殖歯がある。

採集地: 葉山沖 150 m。

分布：日本各地，北極海，北米太平洋岸，ケープタウン。

Family ARENICOLIDAE タマシキゴカイ科

74. *Arenicola brasiliensis* Nomato タマシキゴカイ (第12図版, m)

Arenicola cristata Okuda, 1933, p. 248, pl. 13, figs. k-m.

Arenicola brasiliensis Imajima and Hartman, 1964, p. 315.

体長約 150 mm。体は 17 剛毛節からなる。頭部はほぼ円形で何ら付属器官がない。羽状の鰓は第 7~17 剛毛節間に 11 対ある。

採集地：長者ヶ崎の砂中。

分布：北海道室蘭以南，大西洋，黄海。

Family TEREPELLIDAE フサゴカイ科

75. *Nicolea gracilibranchis* (Grube)

Nicolea gracilibranchis Marenzeller, 1884, p. 207, pl. 2, fig. 2; Imajima and Hartman, 1964, p. 341.

体長 20~40 mm。頭部には長い多くの糸状の感触糸がある。胸部は 17 剛毛節からなり，第 2 と 3 体節にはそれぞれ 1 対の枝分れした鰓がある。前対の鰓は後対のものより大きい。膜質に砂をつけた管に入る。

採集地：長者ヶ崎，芝崎。

分布：本州各地，フィリピン諸島，インド洋。

76. *Thelepus japonicus* Marenzeller

Thelepus japonicus Marenzeller, 1884, p. 208, pl. 2, fig. 4; Imajima and Hartman, 1964, p. 350.

体長 30~70 mm。頭部には多くの糸状の感触糸があり各糸に深いみぞがある。第 2, 3, 4 体節には螺旋状によじれた糸状の鰓が横列にならぶ。囀口節には小さな黒い眼点が多数散在する。背足枝は第 3 体節より体後部近くまでつづく。

採集地：長者ヶ崎，芝崎の石の下面や岩の割れ目。

分布：日本各地。

Family SABELLIDAE ケヤリ科

77. *Demonax aulacoanta* (Marenzeller) アヅサケヤリ

Sabella aulacoanta Marenzeller, 1884, p. 210, pl. 2, fig. 8.

Demonax aulacoanta Imajima and Hartman, 1964, p. 356.

体長 50~70 mm，環節数 110~140。頭部には各側 20~33 本の鰓糸があり，各鰓糸には眼点も指状突起もない。胸部の前端から生ずる襟状体は 2 葉で，背面は広く開き，腹面では両端が舌状体におわる。棲管は膜質に砂をつける。

採集地：長者ヶ崎。

分布：本州各地，太平洋。

78. *Myxicola infundibulum* (Renier) ロウトケヤリ

Myxicola infundibulum Okuda, 1939, p. 243; Imajima and Hartman, 1964, p. 366.

体長約 40 mm。体はだいたい色で第 1 環節は暗灰紫色。鰓は暗赤褐色で全長の大部分がうすい膜で互にむすびつけられている。1～数個の眼点が腹部の各いぼ足の後部にある。

採集地：長者ヶ崎。

分布：東北地方以南，大西洋，インド洋，地中海。

79. *Sabellastarte japonica* (Marenzeller) ケヤリ

Laonome japonica Marenzeller, 1884, p. 212, pl. 3, fig. 4.

Sabellastarte japonica Imajima and Hartman, 1964, p. 364.

体長約 90 mm。泥をつけた膜質の管に入り岩の間に着生する。

採集地：芝崎。

分布：本州中部以南。

80. *Branchiomma cingulata* (Grube) ムラクモケヤリ

Branchiomma cingulata Imajima and Hartman, 1964, p. 355.

体長約 40 mm。体は青褐色で多数の赤褐色斑点がある。各鰓糸の主軸には背側に 10～20 対の指状突起が生じ，またその附近に球形の眼点がある。膜質の棲管に砂粒や泥をつける。

採集地：芝崎。

分布：東北地方以南，南洋諸島，オーストラリア。

81. *Pseudopotamilla reniformis* (Linnaeus)

Potamilla reniformis Okuda, 1937 c, p. 61.

Pseudopotamilla reniformis Imajima and Hartman, 1964, p. 361.

鰓糸は 10～15 対あり，各鰓糸に 1～7 個の大きな眼点がある。襟は 4 葉に分かれ，背葉は大きくてほぼ三角形，棲管は膜質で砂粒をつける。

採集地：芝崎。

分布：東北地方以南，大西洋。

Family SERPULIDAE カンザシゴカイ科

82. *Hydroides ezoensis* Okuda エゾカサネカンザシ (第 12 図版, n)

Hydroides ezoensis Okuda, 1934 a, p. 239, textfigs. 5-7.

表面に 2 本の縦線がある白い石灰質の棲管に入る。頭部には 18～20 対の鰓糸と 1 本の柄があってその上部に殻蓋をつける。殻蓋は 2 つの盃状体がかさなり，上部のものは 30 内外の棘が花卉状に並び，その上面に 5～6 個の小突起が一行に並ぶ。

採集地：長者ヶ崎，芝崎の石や貝殻に着生。

分布：日本各地，オホーツク海。

83. *Eupomatus uncinatus* Philippi (第12図版, o)

Hydroides uncinata Okuda, 1937 c, p. 63, textfig. 10.

Eupomatus uncinatus Imajima and Hartman, 1964, p. 368.

体長 20~30 mm。殻蓋の上部盃状体は 8~16 本の幅の広い単一な棘からなり，それらには何ら小突起がない。下段のものはろと状で辺縁に約 30 の歯状突起がある。

採集地：長者ヶ崎。

分布：東北地方以南，地中海，大西洋。

84. *Pomatoleios krausii* (Baird) ヤッコカンザシ

Pomatoleios crosslandi Okuda, 1937 c, p. 64, pl. 2, fig. 1.

Pomatoleios kraussii Imajima and Hartman, 1964, p. 372.

棲管は青色で上部に 2 条の隆起線があり，断面は三角形。頭部の鰓冠は各葉 19~23 本の鰓糸からなり，各鰓糸には 3~5 対の暗青色の眼点がある。殻蓋は扁平な盃状体でふちは平滑，柄部は太くて両側に翼状の突起物を生ずる。

採集地：長者ヶ崎，芝崎の岩礁。

分布：本州各地，南アフリカ，インド洋，オーストラリア。

85. *Spirobranchus giganteus* (Pallas) イバラカンザシ

Spirobranchus giganteus Takahashi, 1938, p. 213, pl. 20, F, textfig. 15.

棲管は桃色の石灰質で背側中央線に沿って高い隆起がある。鰓冠は青色や真紅色で，管の口から円錐状に開く。殻蓋の中央部には鹿の角のような突起がある。

採集地：芝崎。

分布：本州中部以南，インド洋，大西洋，南太平洋。

86. *Serpula vermicularis* Linnaeus ヒトエカンザシ

Serpula granulosa Marenzeller, 1884, p. 215, pl. 4, fig. 1.

Serpula vermicularis Okuda, 1940, p. 22; Imajima and Hartman, 1964, p. 372.

太くて厚い石灰質の円筒状棲管に入る。体長 50~70 mm，環節数 170~250。鰓糸は紅緑色または青褐色で 30~40 対。殻蓋は一重で周囲に多くの歯をもつろと状。

採集地：長者ヶ崎，芝崎の岩礁。

分布：日本各地，世界普通種。

87. *Dexiospira spirillum* (Linnaeus) スベカワウズマキゴカイ

Spirorbis (*Dexiospira*) *spirillum* Okuda, 1934 b, p. 437, textfigs. 1-3.

Dexiospira spirillum Imajima and Hartman, 1964, p. 379.

直径 1.5~2 mm の小さな白い右巻きの殻に入る。表面は平滑。鰓冠には各葉 3~4 本の鰓糸があり、殻蓋は透明ではぼ円錐形、上面にうすい石灰質の盤をもつ。

採集地: 長者ヶ崎。

分布: 日本各地, 世界普通種。

文 献

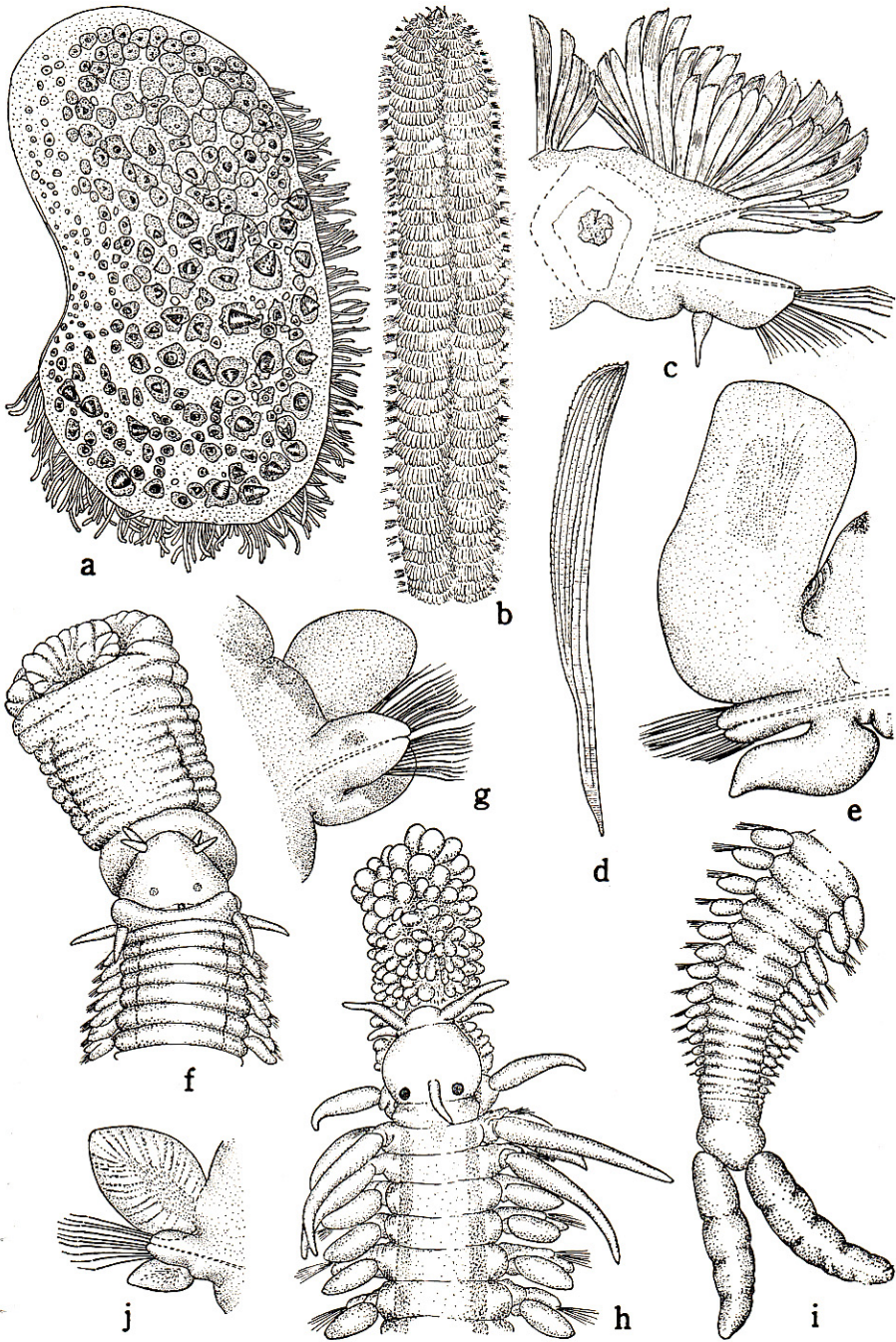
- Annenkova, N. P. 1937. The polychaete fauna of the northern part of the Japan Sea. Akad. Nauk SSSR, Issled. Morei USSR, 23: 139-216, 12 figs., 5 pls.
- Blake, J. A. 1966. On *Boccardia hamata* (Webster), new combination (Polychaeta, Spionidae). Bull. So. Calif. Acad. Sci., 65 (3): 176-184, 11 figs.
- Ehlers, E. 1897. Polychaeten. In Ergebnisse der Hamburger Magalhaensischen Sammelreise. 3: 1-148, pls. 1-9.
- Fauvel, P. 1923. Polychètes Errantes. Faune de France, 5: 1-488, 181 figs.
- 1936. Annélides Polychètes du Japon. Mem. Coll. Sci. Kyoto Univ., s. B, 12: 41-92, 1 fig.
- Hartman, O. 1940. *Boccardia proboscidea*, a New Species of Spionid Worm from California. Jour. Wash. Acad. Sci., 30: 382-387, fig. 1.
- 1942. The Identity of some Marine Annelid Worms in the United States National Museum. Proc. U. S. Natl. Mus., 92: 101-140, figs. 1-15.
- Hessle, C. 1925. Einiges über die Hesioniden und die Stellung der Gattung *Ancistrosyllis*. Ark. Zool., 17 (10): 1-37, 2 pls., 12 figs.
- Imajima, M. 1966 a. The Syllidae (Polychaetous Annelids) from Japan I. Exogoninae. Pub. Seto Mar. Biol. Lab., 13 (5): 385-404, 5 text-figs.
- 1966 b. The Syllidae (Polychaetous Annelids) from Japan III. Eusyllinae. *Ibid.*, 14 (2): 85-116, 11 text-figs.
- 1966 c. The Syllidae (Polychaetous Annelids) from Japan IV. Syllinae (1). *Ibid.*, 14 (3): 219-252, 12 text-figs.
- 1966 d. The Syllidae (Polychaetous Annelids) from Japan V. Syllinae (2). *Ibid.*, 14 (4): 253-294, 16 text-figs.
- 1967. Errant Polychaetous Annelids from Tsukumo Bay and Vicinity of Noto Peninsula, Japan. Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo, 10 (4): 403-441, 12 figs.
- Imajima, M. and O. Hartman. 1964. The Polychaetous Annelids of Japan. Parts I, II. Allan Hancock Found. Occas. Pap., 26: 1-452, 36 pls.
- Izuka, A. 1907. On Two New Species of Annelids belonging to the Eunicidae (In Japanese). Dōbutsugaku Zasshi, 19: 139-43.
- 1912. The Errantiate Polychaeta of Japan. Jour. Coll. Sci. Tokyo Univ., 30 (2): 1-262, 24 pls.
- Johnson, H. P. 1897. A Preliminary Account of the Marine Annelids of the Pacific Coast, with Descriptions of New Species. Proc. Calif. Acad. Sci., Zool., 1: 153-190, pls. 5-10.
- Langerhans, P. 1879. Die Wurmfauna von Madeira. Zeitschr. Wiss. Zool., 32: 513-592, pls. 31-33.
- Marenzeller, E. v. 1879. Südjapanische Anneliden. I. Denkschr. Akad. Wiss. Wien, Math.-Naturwiss. Kl., 41 (2): 109-154, 6 pls.
- 1884. Südjapanische Anneliden. II. *Ibid.*, 49 (2): 197-224, pls. 1-4.
- 1902. Südjapanische Anneliden. III. *Ibid.*, 72: 563-582, 3 pls.
- Okada, Yō K. 1933. Two interesting Syllids, with Remarks on their asexual Reproduction. Mem. Coll. Sci., Kyoto Univ., (B) 8: 325-338, pl. 12, 11 figs.
- Okuda, S. 1933. Some Polychaete Annelids used as bait in the Inland Sea. Annot. Zool. Japon., 14: 243-53, pls. 12-13.
- 1934 a. Some Tubicolous Annelids from Hokkaido. Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., ser. 6, Zool., 3: 233-246, 11 figs.
- 1934 b. On a Tubicolous Polychaete living in Commensal with a Pycnogonid. Annot. Zool. Japon., 14: 437-439, 3 figs.

- 1937 a. Some Ariciid Worms from Japan. Annot. Zool. Japon., 16: 99-105, 6 figs.
- 1937 b. Spioniform Polychaetes from Japan. Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., ser. 6, Zool., 5: 217-254, 27 figs.
- 1937 c. Annelida Polychaeta in Onagawa Bay and its Vicinity. I. Polychaeta Sedentaria. Sci. Rpts. Tohoku Univ., ser. 4, 12: 45-69, pl. 2, 12 figs.
- 1938. Polychaetous Annelids from the Vicinity of the Mitsui Institute of Marine Biology. Japan. Jour. Zool., 8: 75-105, 15 figs.
- 1939. Annelida Polychaeta in Onagawa Bay and its Vicinity. II. Polychaeta Errantia with some Addenda of Polychaeta Sedentaria. Sci. Rpts. Tohoku Univ., ser. 4, Biol., 14: 219-244, 14 figs.
- 1940. Polychaetous Annelids of the Ryukyu Islands. Bull. Biogeogr. Soc. Japan, 10: 1-24, 9 figs.
- Uschakov, P., and B. L. Wu 1962. The Polychaetous Annelids of the Fam. Syllidae, Hesionidae, Pilargiidae, Amphinomidae and Eunicidae (Polychaeta, Errantia) from the Yellow Sea (In Chinese and Russian). Arch. Inst. Oceanologia Sinica, 1: 57-85, 3 pls.
- Wu, B.L. 1964. Subspecific differentiation and ecological characteristics of *Capitella capitata* (Fabricius, 1780) (Polychaeta, Capitellidae) (In Chinese with English summary). Oceanol. et Limnol. Sinica, 6: 260-271, figs. 1-5.

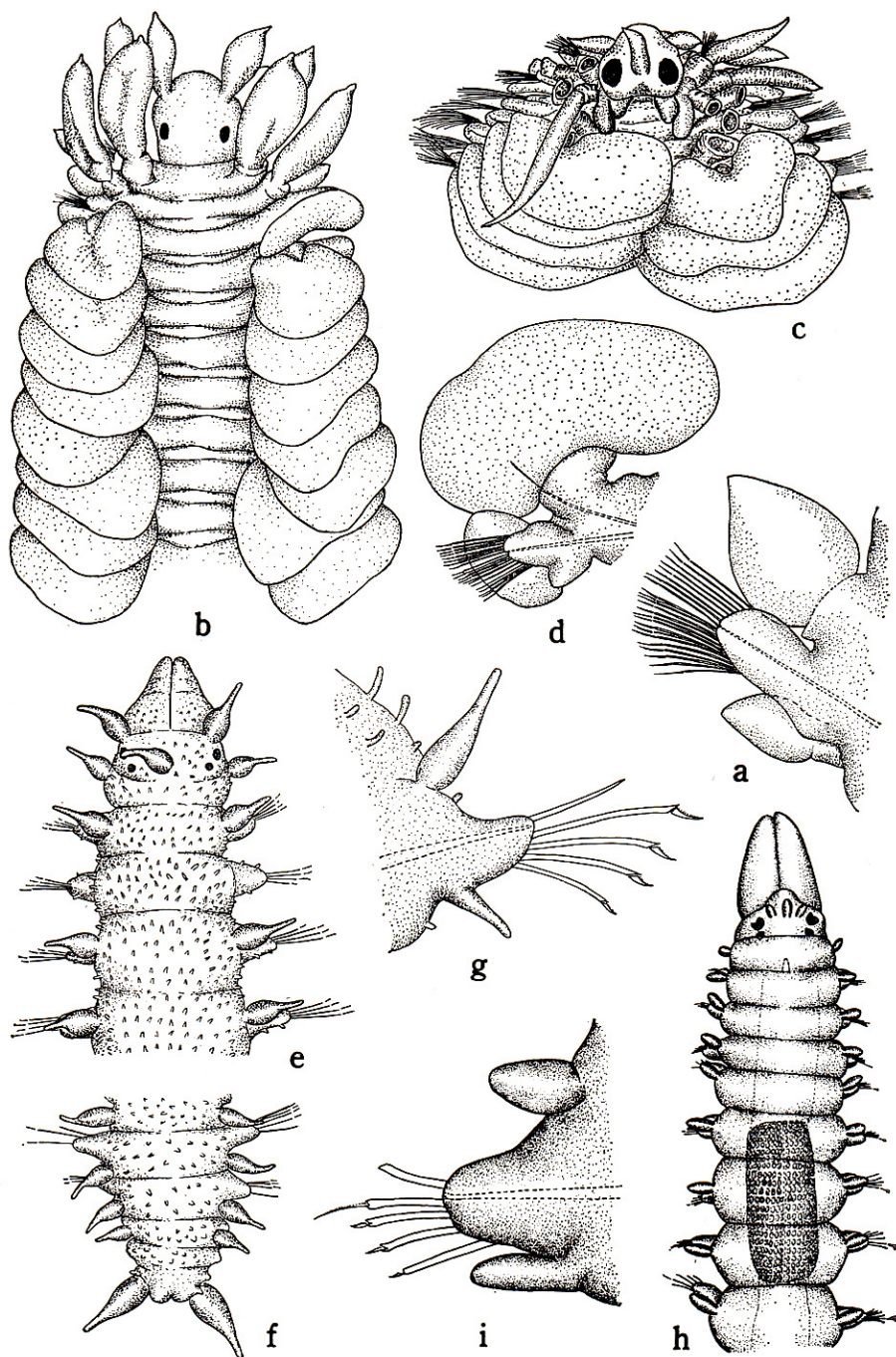
Résumé

Japanese polychaetes were first reported from the east coast of Enoshima, near Yokohama and adjacent areas of the Miura Peninsula by Marenzeller (1879), collected by members of a geological expedition around the world in 1875-76. The polychaetes from the Miura Peninsula were later studied by Marenzeller (1884), Izuka (1902-12), Hesse (1917), Johansson (1927) and others.

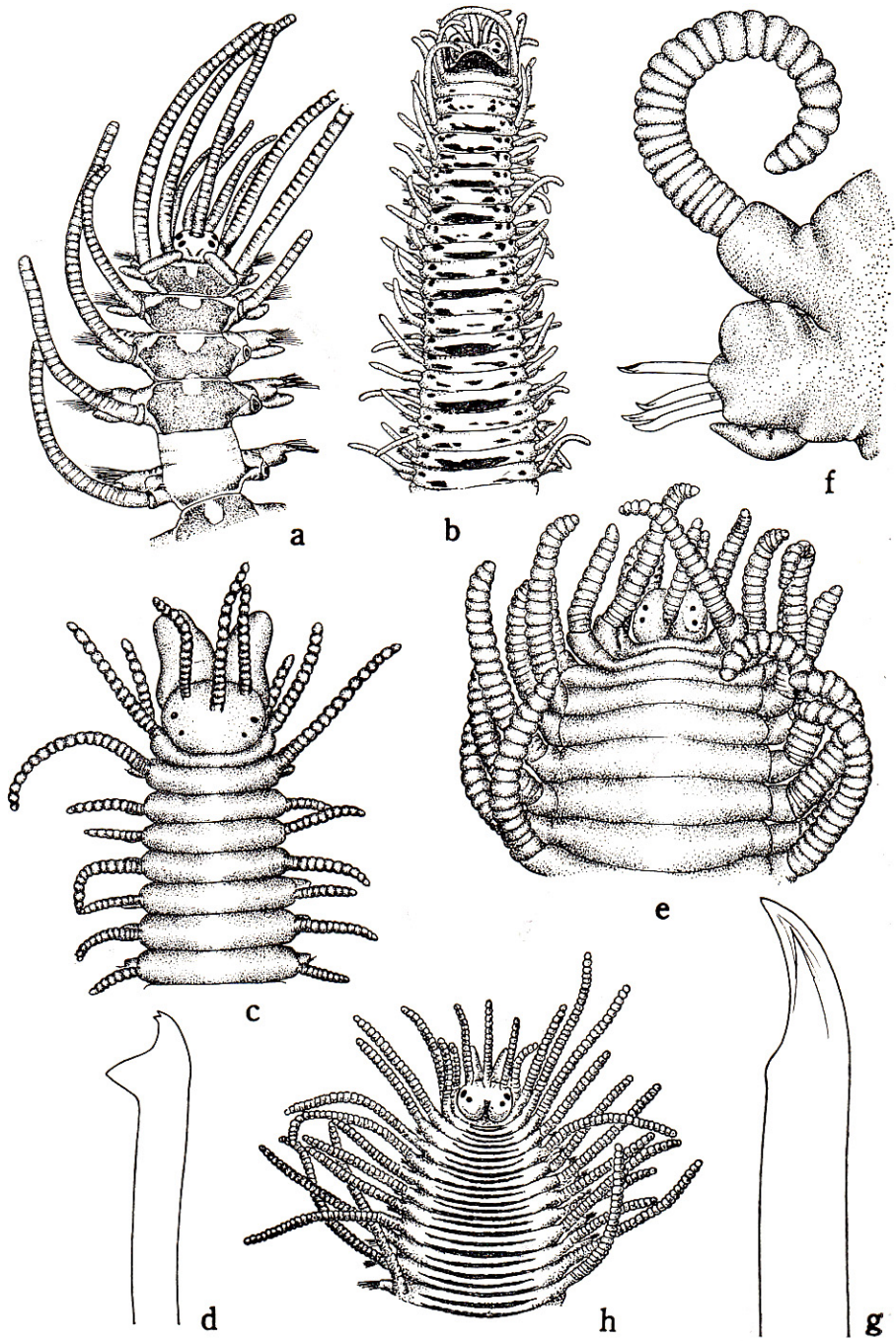
This report is based on the samples taken from the littoral zone of Chōjaga-saki and Shibasaki along the coast of Hayama, Miura Peninsula and off Hayama, in depths of 150 m; the littoral zone of Hayama is rocky, gravelly or sandy. These samples were collected by the author and Miss T. Kawase of the Hayama Museum. Eighty-seven species are reported, and other twelve indeterminate ones will be published later. Most species are more widely known from the coast of Japan.



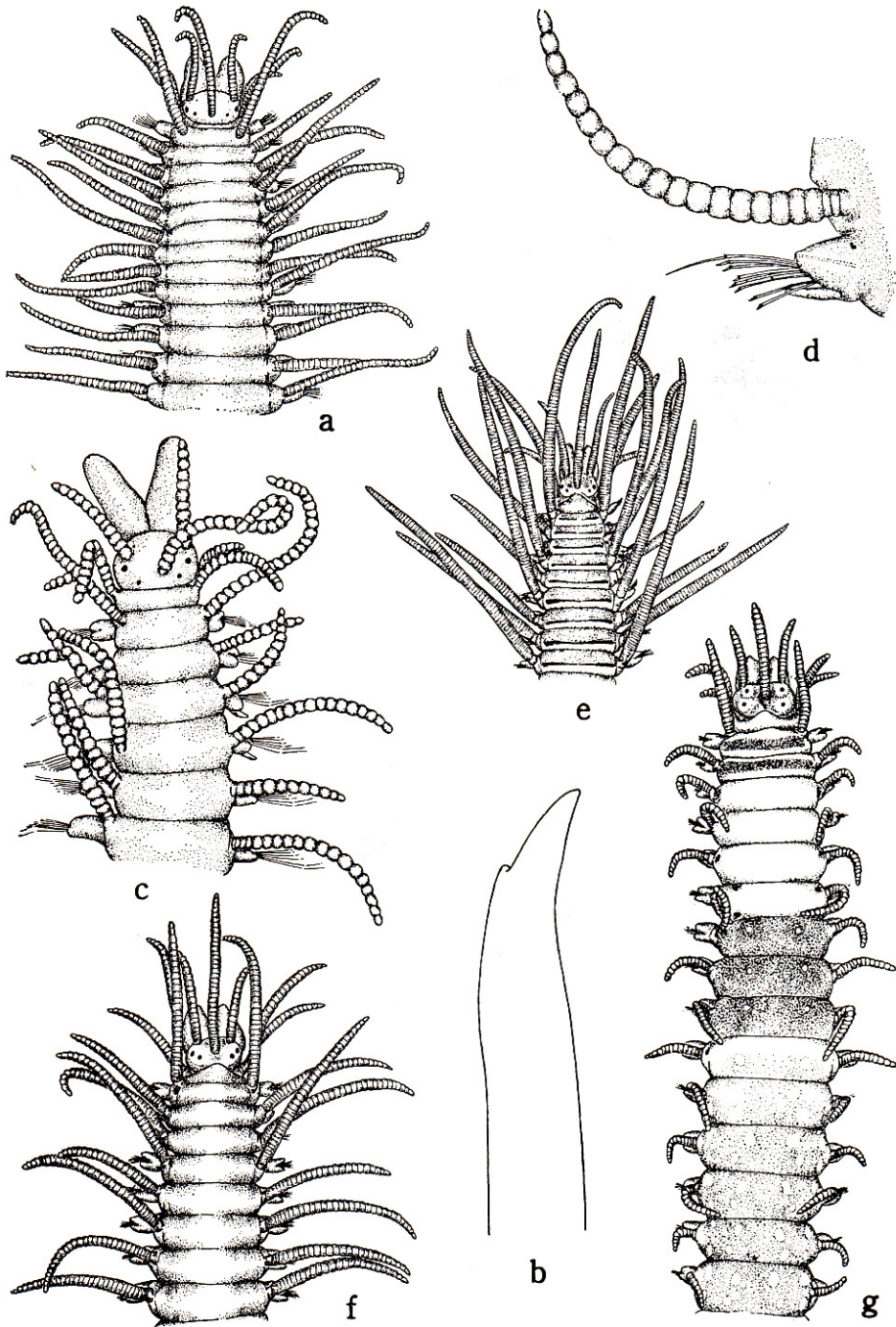
第7図版, a-j. a, *Lepidonotus squamatus* (Linnaeus) の背鱗; b-d, *Chrysopetalum occidentale* Johnson, b, 体前部, c, いぼ足, d, 扁毛; e, *Anaitides groenlandica* (Oersted) のいぼ足; f-g, *Eteone longa* (Fabricius), f, 吻部をだした体前部, g, いぼ足; h-j, *Eulalia bilineata* (Johnson), h, 体前部, i, 体後部, j, いぼ足。



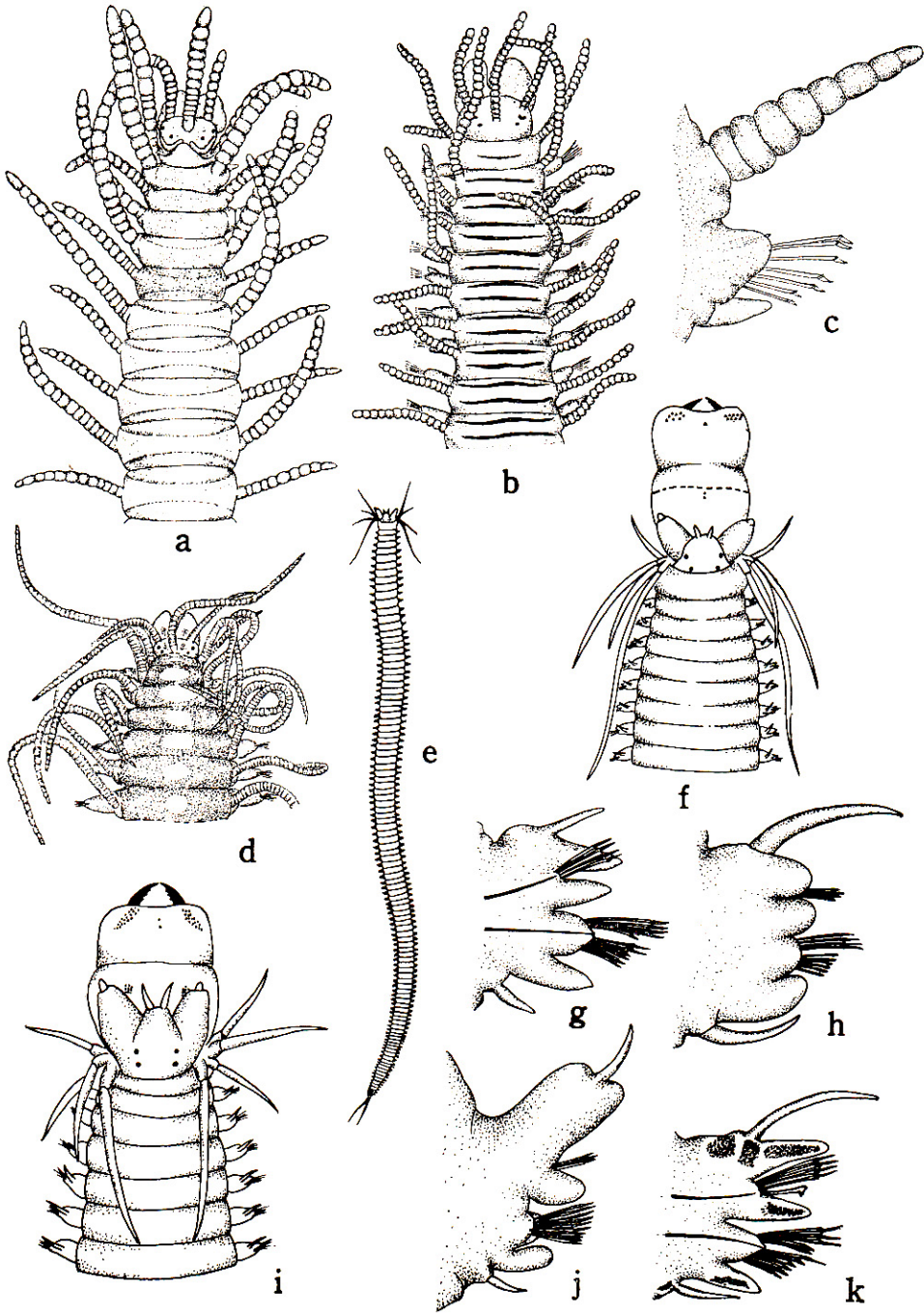
第8図版, a-h. a, *Eumida sanguinea* (Oersted) のいぼ足; b, *Genetyllis castanea* (Marenzeller) の体前部; c-d, *Nipponophyllum japonicum* (Marenzeller), c, 体前部 (感触しゅと背触しゅの数対は除かれた), d, いぼ足; e-g, *Sphaerosyllis hirsuta* Ehlers, e, 体前部, f, 体後部, g, いぼ足; h-i, *Exogone verugera* (Claparède), h, 体前部, i, いぼ足。



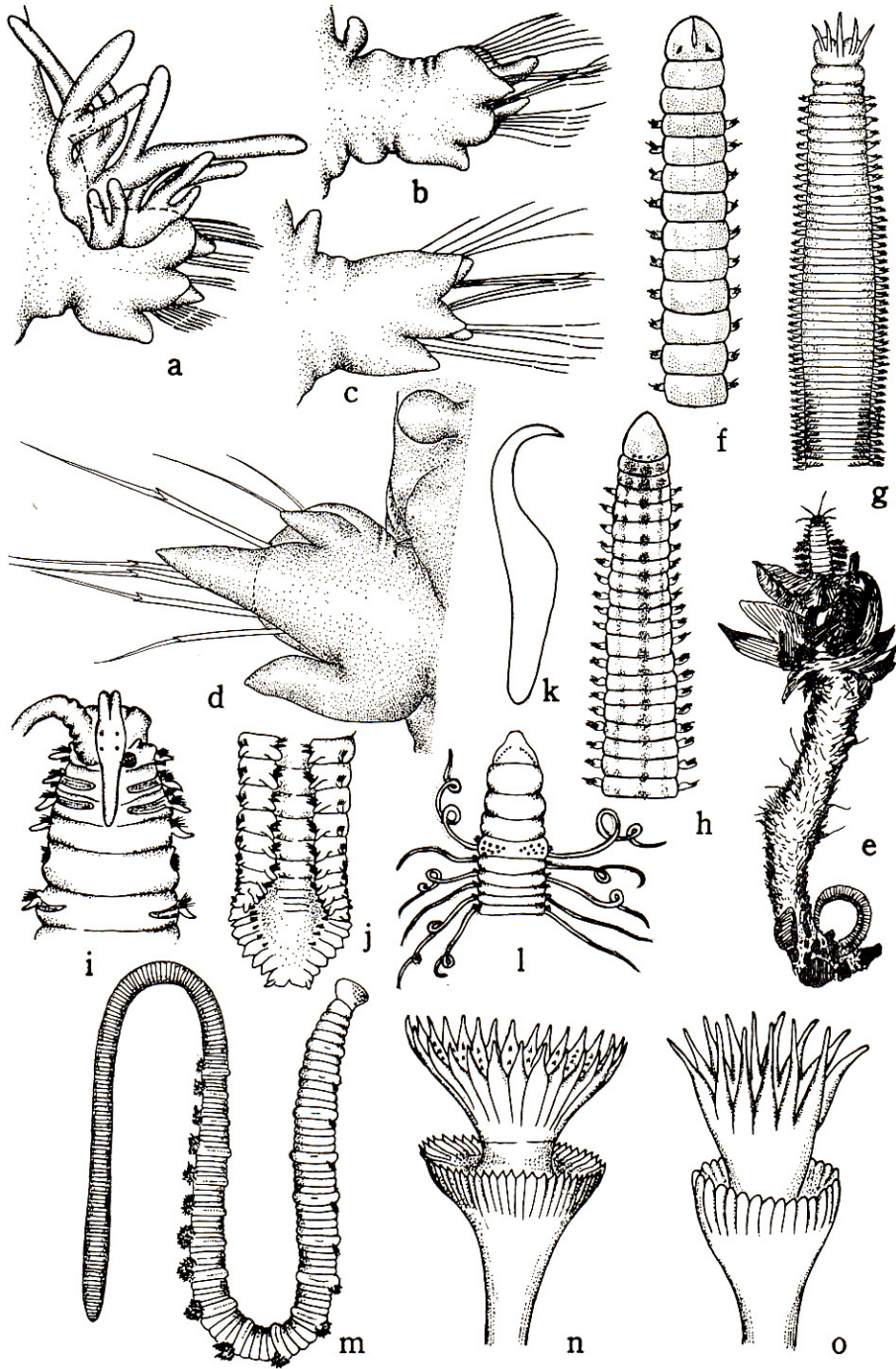
第9図版, a-h. a, *Amblyosyllis speciosa* Izuka の体前部; b, *Odontosyllis undecim-donta* Imajima and Hartman の体前部; c-d, *Haplosyllis spongicola* (Grube), c, 体前部, d, 剛毛; e-g, *Trypanosyllis (Trypanobia) asterobia* Okada, e, 体前部, f, いぼ足, g, 単一剛毛; h, *Trypanosyllis (Trypanedenta) taeniaformis* (Haswell) の体前部。



第10図版, a-g. a-b, *Syllis amica* Quatrefages, a, 体前部, b, 単一剛毛; c-d, *Langerhansia cornuta* (Rathke), c, 体前部, d, いぼ足; e, *Typosyllis ehlersioides* Marenzeller の体前部; f, *Typosyllis prolifera* (Krohn) の体前部; g, *Typosyllis okadai* (Fauvel) の体前部。



第11 図版, a-k. a, *Typosyllis nipponica* Imajima の体前部; b-c, *Typosyllis aciculata orientalis* Imajima and Hartman, b, 体前部, c, いぼ足; d, *Typosyllis adamanteus kurilensis* Chlebovitch の体前部; e-f, *Perinereis brevicirris* (Grube), e, 体全形, f, 体前部; g, *Perinereis cultrifera* (Grube) のいぼ足; h, *Nereis pelagica* Linnaeus のいぼ足; i-j, *Nereis vexillosa* Grube, i, 体前部, j, いぼ足; k, *Platynereis bicanaliculata* (Baird) のいぼ足。



第12図版, a-o. a, *Glycera americana* Leidy のいぼ足; b, *Glycera chirori* Izuka のいぼ足; c, *Glycera onomichiensis* Izuka のいぼ足; d, *Glycera capitata* Oersted のいぼ足; e, *Diopatra bilobata* Imajima の棲管内の個体; f, *Nematonereis unicornis* (Grube) の体前部; g, *Marphysa sanguinea* (Montagu) の体前部; h, *Arabella iricolor* (Montagu) の体前部; i-k, *Boccardia hamata* (Webster), i, 体前部, j, 体後部, k, 鎌型剛毛; l, *Cirratulus cirratus* (O.F. Müller) の体前部; m, *Arenicola brasiliensis* Nomato の体全形; n, *Hydroides ezoensis* Okuda の殻蓋; o, *Eupomatus uncinatus* Philippi の殻蓋。